

第五次栗東市総合計画
前期基本計画評価結果報告書

平成26年12月

もくじ

1. 第五次栗東市総合計画前期基本計画の評価にあたって	1
(1) 評価の目的	1
(2) 評価の方法	1
2. 第五次栗東市総合計画前期基本計画評価結果について	2
(1) 総括評価	2
(2) 個別評価	3
【基本目標1 安全・安心のまち】	4
「基本政策1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち」	6
「基本政策2 生涯を通じた健康づくりのまち」	9
「基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち」	14
「基本政策4 安全・安心に暮らせるまち」	20
【基本目標2 環境・創出のまち】	26
「基本政策1 地球にやさしい環境を推進するまち」	28
「基本政策2 快適で美しい生活環境のまち」	30
「基本政策3 まちを支え、活力を創出する産業のまち」	34
【基本目標3 愛着・交流のまち】	39
「基本政策1 人が育ち、力を発揮できるまち」	41
「基本政策2 個性を生かす地域文化のまち」	43
「基本政策3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち」	45
「基本政策4 多文化交流のまち」	47
【政策の実現に向けて】	48
「政策1 市民主体、市民協働のまち」	50
「政策2 効率的で効果的な自治体運営」	52

1. 第五次栗東市総合計画前期基本計画の評価にあたって

(1) 評価の目的

本市では、平成22年度に市制施行後初めての総合計画となる、「第五次栗東市総合計画」を策定しました。

第五次総合計画は平成22年度から平成31年度の10年間を計画期間とし、10年間の「基本構想」と5年間の「基本計画」の二層構造により、総合計画の将来都市像である「ひと・まち・環境 ともに育む「健やか・にぎわい」都市栗東」の具現化を図るため、各種施策の推進を図ってまいりました。

この「前期基本計画」の計画期間である5年間については、きわめて深刻な財政状況を踏まえた健全化への対応が先決との認識から「財政健全化推進期間」として位置づけ、市民の皆様方の深いご理解、ご協力を得る中、あらゆる行財政改革に集中的に取り組んでまいりました。

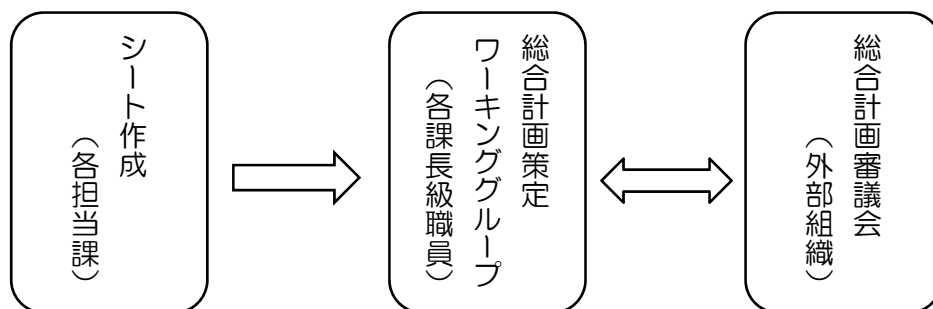
この結果、「(新)集中改革プラン」をはじめとする各種改革や、「土地開発公社の抜本的な改革」としての第三セクター等改革推進債を活用した土地開発公社の解散など、本市の財政健全化に向けて着実にその歩みを進め、一定の成果が見られたところです。

しかし、国における経済動向は全体として、緩やかな回復基調にあると見込まれるものの、地方経済への波及効果は遅れると考えられることや、全国また、県においては人口減少局面に至り、今後さらに少子高齢化や人口減少傾向の進行が予測されること、加えて、大規模な自然災害の多発など、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しさを増しており、本市においては、安定的な行財政運営に加え、新たな行政ニーズへの対応が大きな課題となっております。

については、本年度前期基本計画期間が終了することを受け、総合計画の前期基本計画における成果や、課題、昨今の社会情勢等も含めた検証を行う中で、その結果を「後期基本計画」に反映するため、基本目標・施策ごとに評価を行います。

(2) 評価の方法

第五次栗東市総合計画における前期基本計画に掲げる38施策中、所属ごとに所管する全事業について、シートを作成し、前期計画期間中における取り組み内容、課題、今後の方向性について、自己点検を行い、総合計画審議会の意見もいただく中、評価を行いました。



2. 第五次総合計画前期基本計画評価結果

第五次栗東市総合計画における前期基本計画について、下記のとおり進捗状況を評価しました。

(1) 総括評価

①評価の時点

H25年度末時点

②達成状況

前期基本計画掲げる成果指標の「H26年度目標値」については、その達成度により次の達成率で区分しています。

区分	達成度（達成率）
★★★★	目標をほぼ達成（75%以上）
★★★	目標の半ば程度以上達成（50%～75%未満）
★★	目標の半ば程度まで達成（25%～50%未満）
★	目標の達成に向けて着手（～25%未満）

（達成率の算出方法について）

達成率は、基本的に前期基本計画策定時の成果指標の（H20年度）実績値を0、H26年度の目標値を100とした場合の、その目標値に対する直近年度における実績値と比較した数値をもとに算定しています。

※達成率がマイナスとなったものについては、「0%」としています。

③成果指標結果の概要

前期成果指標全体の達成度 全体達成度 成果指標合計：69個（内指標数：58個）

基本目標	指標数	達成度			
		★ （～25%未満）	★★ （25%～50%未満）	★★★ （50%～75%未満）	★★★★ （75%以上）
安全・安心のまち	36	13	5	8	10
環境・創出のまち	16	6	1	0	9
愛着・交流のまち	11	4	3	0	4
政策の実現に向けて	6	0	0	0	6
計	69	23	9	8	29

※指標数は、各成果指標内において細区分された数で集計しています。

④評価と課題

前期基本基本計画における評価と課題を、次のとおりまとめています。

基本目標	評価と課題
基本目標1 「安全・安心のまち」	市道の整備や防災拠点の耐震化など計画的な取り組みの効果がみられる一方、少子高齢社会の到来など、今後の社会経済情勢の変化を踏まえた制度改正への対応や全国的な新たな課題への対応、市民一人ひとりの意識向上を図る更なる取り組みなどが求められています。
基本目標2 「環境・創出のまち」	環境や景観、緑化などに対する市民意識の高まり、新幹線新駅跡地地区における企業立地など、計画的な取り組みの効果がみられる一方、少子高齢社会の到来など、今後の社会経済情勢の変化を踏まえた既存制度の見直しや新たな仕組みづくりへの対応や、更なる市民一人ひとりの意識向上に向けた取り組みなどが求められています。
基本目標3 「愛着・交流のまち」	子どもの確かな学力向上に向けた取り組みに効果がみられる一方、少子・高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化など、今後の社会経済情勢の変化を踏まえつつ、市民への積極的な情報発信を行いながら、生涯学習のまちづくり、子どもの学習意欲を高める取り組み、歴史や伝統文化、芸術・文化のまちづくり、観光・交流のまちづくりへの更なる取り組みが求められています。
「政策の実現に向けて」	市民主体・市民協働のまちづくりをはじめ、財政運営や行財政改革の取り組みに効果がみられる一方、今後においては、少子・高齢化の進展、ライフスタイルや価値観の変化、国の制度改革等を踏まえ、更なる市民参画と協働によるまちづくりの充実を図るとともに、継続的な財政規律の確保、栗東ならではのまちづくりに繋がるプラス創造型の行財政改革の推進に向けた、更なる取り組みが求められています。

(2) 個別評価

それぞれの基本目標及び施策に対する個別評価は、次ページ以降のとおりです。

【基本目標 1 安全・安心のまち】

「基本目標1 安全・安心のまち」全体達成度 成果指標合計：36個（内指標数：30個）

基本政策	指標数	達成度			
		★ (~25%未満)	★★ (25%~50%未満)	★★★ (50%~75%未満)	★★★★ (75%以上)
一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち	4	2	0	1	1
生涯を通じた健康づくりのまち	12	5	3	2	2
安心を支える福祉を推進するまち	8	4	0	2	2
安全・安心に暮らせるまち	12	2	2	3	5
計	36	13	5	8	10

「基本目標1 安全・安心のまち」の評価と課題

「基本政策1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち」については、各種人権教育・啓発事業等により、市民等の意識の高まりが見られるなど、一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまちの実現に向けた取り組みの効果が見られます。その一方で、高齢化の進展等の社会情勢と相まって、参画する市民の固定化や男女間の性別による役割分担に関する固定的な考え方が残るなどの課題も見られます。

「基本政策2 生涯を通じた健康づくりのまち」については、「健康りっとう21」に基づく健康づくりや医療体制の充実、園や学校、家庭等と連携した食育の推進、市民がスポーツ活動に参加・参画する機会づくりの取り組み等により、生涯を通じた健康づくりのまちづくりが進められています。その一方で、多様な機会を通じた情報発信、市民一人ひとりの意識向上、関係機関や各種団体等との連携など、更なる健康づくりのまちの実現に向けた取り組みが求められています。

「基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち」については、地域で支えあう福祉のまちづくりを基本として、高齢者、障がい者、子どもの安心な暮らしの確保、社会保障の効率的な提供による安定した市民生活の確保が進められ、障がい者の福祉就労から一般就労への移行者など、安心を支える福祉を推進するまちの実現に向けた取り組みの効果が見られます。その一方で、本格的な高齢社会の到来を見据えた国の制度改正や多様化する福祉ニーズを踏まえつつ、適切な情報発信や主体的な活動の支援、関係機関等の連携・ネットワークづくりなどを継続・充実していくことが求められています。

「基本政策4 安全・安心に暮らせるまち」については、災害に強いまちづくりや防災・災害危機管理のまちづくりをはじめ、防犯や交通安全、消費者を守るまちづくりなど、日常生活の安全・安心のまちづくりに取り組んでおり、特に、市道の整備や防災拠点となる公共施設の耐震化など、安全・安心に暮らせるまちの実現に向けた効果が見られます。その一方で、増加するゲリラ豪雨、台風等の自然災害への備えや、消防団員の不足や犯罪の低年齢化、多様化する消費者トラブルなど、全国同様の課題への対応が求められています。

基本政策 1 一人ひとりが尊重され、誰もが参画できるまち

施策1 人権を尊重するまちづくり

(基本事業)

- ・人権施策の推進
- ・人権・同和教育と啓発の推進
- ・人権擁護の推進
- ・地域総合センター（隣保館）の充実

成果指標	差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしていこうとする市民の割合						
説明	H17 と H22 実施の「人権・同和問題に関する住民意識調査」による数値の把握。5年に一度の調査につき、毎年の数値の把握は出来ない。目標数値は、H17 調査時の「そう思う」割合 24.7%と「どちらかといえばそう思う」割合 42.2%の合計 66.9%より算出。						
年度	H17 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H23 実績値	H24 実績値	H25 実績値	H26 目標値
数値	24.7	—	66.1	—	—	—	70
所管課	人権政策課			達成度	★★★★	単位	%
成果指標	企業内同和問題社内研修を実施している事業所の割合						
説明	「人権を尊重するまちづくり」の究極は人の意識にあり、人権意識および態度・行動につながる啓発活動による市民意識の向上を目指す。 市内の研修担当窓口を設置している事業所（約 450）において、研修を実施した事業所数の割合。						
年度	H20 実績値	H21 実績値	H22 実績値	H23 実績値	H24 実績値	H25 実績値	H26 目標値
数値	36.3	43	41	48	56	56	70
所管課	経済振興労政課			達成度	★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・「栗東市人権擁護計画」及び「栗東市人権擁護計画実施計画書」を策定し、設定した分野別取り組みの目標の実現に向けて、地区別懇談会、じんけんセミナー栗東など市民向けの様々な講演会等の人権啓発事業を展開するとともに、取り組み状況や成果・課題等を確認しつつ継続的に事業を進めています。 ・地域総合センターでは、各種事業の開催を通じ、市内外の交流を図る中で、差別の実態に学ぶ人権学習の確立に取り組みました。また、就労、生活、健康、住宅、年金などの生活相談によりその解決支援に取り組むとともに、企業に対しては企業訪問や事業所人権教育推進協議会活動を通じて、公平公正な採用選考と差別のない明るい職場づくりに向けた啓発に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している様々な人権施策について、取り組み間の情報共有が不足しており、また、参加者の固定化の傾向が見られることから、今後は、関係機関・関係各課の情報共有や横断的連携を図り、より一層効果の高い取り組みを推進する必要があります。 ・事業啓発の工夫により新規利用者の拡大を図る中で、センターの機能を高める必要があります。また、日々の相談支援業務を通じて地域の課題や住民ニーズを発見・対応するとともに、事業所内での研修活動の継続的な実施により効果的な研修実施に向けた意識啓発を検討していく必要があります。

施策2 平和活動を推進するまちづくり

(基本事業)

- 平和都市活動の推進

成果指標	各コミュニティセンターでの平和事業への参加者数						
説明	地域レベルで平和の尊さや戦争の悲惨さを学び、理解する機会の充実を図るため、コミュニティセンターにおける事業への参加者の拡充を目指す。 毎年各コミセンから提出される事業実績報告に基づき数値の把握を行い、目標数値は数年間の参加者数の伸び+αにより設定。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	942	395	402	455	483	706	1,200
所管課	総務課			達成度	★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平和啓発ポスターの募集、パネル展の開催、戦時の食事体験、平和のいしずえ展の開催、平和を考える図書の展示など、平和の悲惨さや平和の尊さを学ぶ機会を継続的に提供しています。 また、平和祈念戦没者追悼式の開催、学校現場における社会科での歴史学習や道徳での平和教育などについても継続的に実施しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 戦争体験者の高齢化など、戦争体験の風化が進む中で、市民への啓発方法を工夫し、学校においては、平和教育の指導カリキュラムの検討などに取り組み、継続して戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていく必要があります。

施策3 男女共同参画のまちづくり

(基本事業)

- ・男女共同参画社会の推進

成果指標	審議会等の女性委員の割合						
説明	<p>審議会等における女性委員の割合は30%近くになったが、これをさらに推し進め、バランスのとれた委員登用を図る。</p> <p>毎年総務課に提出される審議会等の委員名簿により、数値の把握を行い、目標数値は、県のプランの目標値を参考に設定。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	29.7	31.3	31.8	29.2	32.6	32.2	40.0
所管課	生涯学習課			達成度	★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり女と男の共同参画プラン（第4版）」に基づき、講演会やセミナーの開催など、様々な分野において男女共同参画を推進するための全庁的な連携、体制整備を進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の固定的役割分担意識がありワーク・ライフ・バランスが進みにくい、DVなど様々な暴力や差別は表面化しにくい、職業選択の理解は進みつつあるが現実的な就労環境は厳しいなどの課題を、総合行政として解決していくことが求められています。 ・各種審議会等の構成は、任命権者の選任や団体推薦、自主的な参画等があり、女性委員の参加率向上が難しい現状となっていますが、各所属の事務においても女性の参画を継続して推進していく必要があります。

基本政策2 生涯を通じた健康づくりのまち

施策1 健康増進・医療体制の整ったまちづくり

(基本事業)

- ・健康づくりの推進
- ・母子保健の推進
- ・疾病の予防
- ・地域医療体制の整備

成果指標	市民の喫煙率						
説明	「健康りっとう21」の中間評価のためにH19年度に実施した「生活と健康に関するアンケート調査」により現状数値の把握を行った。毎年の数値の把握は出来ない。「健康りっとう21」における目標数値は、喫煙率の低下のみ記載。 ※調査は5年に1回						
年度	H19実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	32.7(男) 8.7(女)	—	—	—	32.5(男) 5.9(女)	—	22.7(男) 8.7(女)
所管課	健康増進課		達成度	(男)★ (女)★★★★		単位	%
成果指標	特定健診の受診率						
説明	市特定健診実施計画におけるH24目標値が65.2%につき、H26末目標値についてほぼ同様に設定。なお、この数値は国の目標数値でもある。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	27.7	31.9	31.2	31.8	36.0	未確定	65.0
所管課	保険年金課			達成度	★	単位	%
成果指標	特定保健指導の実施率						
説明	健康増進においては、病気につながる生活習慣の改善や予防活動が重要であり、健康の基礎づくりや重症化の予防に向けた生活習慣の形成を目指す。 市特定健診実施計画におけるH24目標値が45.1%につき、H26末目標値についてほぼ同様に設定。なお、この数値は国の目標数値でもある。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	17.4	21.0	20.6	15.4	11.7	未確定	45.0
所管課	健康増進課			達成度	★	単位	%

取り組み内容(実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康りっとう21」に基づき、健康推進員活動の支援やプロジェクトWの取り組みを進めるなど、関係機関との連携を図りながら、健康づくりを推進しています。 ・健診の受診啓発やがん検診無料クーポンの交付など、受診率向上に向けた取り組みを進めています。 ・新たな休日急病診療所の建設、二次小児救急医療業務委託の実施など、地域医療体制の整備を進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコの害に関する市民の認識は広がっていますが、妊婦の喫煙率が国や県の喫煙率よりも高いため、特に妊婦やその家族に対して、継続して禁煙の啓発を進めていく必要があります。 ・妊娠期においては、産科医との連携や早期の段階からの受診・啓発などの取り組み

みを進めるとともに、新たに始まる予防接種については対象となる市民への十分な周知や適切な予防接種履歴の管理が必要となっています。

- 市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、食習慣と合わせて日々体を動かす習慣を啓発するなど、生活習慣病予防を継続していく必要があります。

施策2 食育のまちづくり

(基本事業)

- ・地域に根ざした食育の推進
- ・学校、保育園等における食育の推進

成果指標	家族と食事をしていない子ども（乳幼児）の割合						
説明	園の保護者を対象とし、毎年実施する「ふだんの生活習慣アンケート」により数値の把握を行い、目標数値については、「食育推進計画」の目標値と整合を図っている。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	11.0	11.1	6.7	6.4	8.4	7.5	5.0
所管課	幼児課			達成度	★★★	単位	%
成果指標	朝食摂取率						
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児については、園の保護者を対象とし、毎年実施する「ふだんの生活習慣アンケート」により数値の把握を行い、目標数値については、「栗東市食育推進計画」の目標値と整合を図っている。 ・学校については、毎年実施する「ふだんの生活習慣アンケート」により数値の把握を行い、目標数値については「栗東市食育推進計画」の目標値と整合を図っている。 ・成人については、「健康りっとう21」の中間評価のためにH19年度に実施した「生活と健康に関するアンケート調査」により現状数値の把握を行った。毎年数値の把握は出来ない。目標数値については、「栗東市食育推進計画」の目標値と整合を図っている。 						
年度	H20実績値 (※H19)	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値							
幼児	97.0	97.5	97.1	95.9	97.4	95.2	100.0
小学生	94.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	98.0
中学生	91.0	90.0	90.0	91.0	93.0	92.0	95.0
成人男性	78.0※	—	—	—	80.0	—	81.0
成人女性	86.0※	—	—	—	87.0	—	89.0
所管課	幼児課、学校教育課、健康増進課		達成度	幼児 ★ 小学生 ★★★★★ 中学生 ★★ 成人男性 ★★★★ 成人女性 ★★	単位	%	
成果指標	給食における栗東産野菜の使用割合						
説明	<p>「食」を軽視する傾向に対し、子どもを中心として、健全な心身を培い、豊かな人間性を育む食育を家族・地域ぐるみで推進する。</p> <p>46品目中25品目の栗東産野菜の使用から、46品目中28品目の使用とする。目標数値については、「栗東市食育推進計画」の目標値と整合を図っている。 ($28 \div 46 = 0.608$)</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	54.3	37.8	33.3	32.5	41.0	38.5	60.0
所管課	学校給食共同調理場			達成度	★	単位	%

<p>取り組み内容 (実績)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • クッキング活動や給食指導等を通じた食への関心や感謝の気持ち、食の大切さの啓発を行うとともに、各種講座等の開催を通じて、家族を含め、食事を摂ることで心身の健やかな成長に繋がることを啓発しています。 • 栗東市食育推進計画を基本に、離乳食講座や出前トーク、健康推進活動の支援、「早ね・早おき・朝ごはん」運動、中学校における「自分の弁当をつくろう」の取り組み、食育の日や食育通信の発信など、基本的な食習慣や健全な食生活の啓発に継続して取り組んでいます。 • 給食における地元産野菜の使用を進めていますが、新規就農者が徐々に育ちつつある一方で、生産者の高齢化と後継者不足により、大幅な野菜の作付拡大が進んでいない状況にあります。
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 食に対する意識が多様化している中で、更に継続して保護者の食育に対する意識を高め、食習慣の定着や家庭での環境づくりを進めていく必要があります。 • 家庭やPTA、学校、関係機関との連携を図りながら、食育の重要性の認識を高める取り組みを継続するとともに、家庭事情等により朝食を食べてこない児童生徒への支援を、また、健康推進員養成講座の開催等によって食育を担う人材づくりを進めていく必要があります。 • 消費者である市民の農業への理解を深めつつ、給食における地産地消の推進に向け、生産体制を整えるとともに、関係部署との連携を図る。また、アレルギーなど身体的理由によって食べられない食材がある児童・生徒への対応を図りつつ、米飯に適した献立としてバリエーションを工夫していく必要があります。

施策3 生涯スポーツを推進するまちづくり

(基本事業)

- ・生涯スポーツの普及
- ・スポーツ施設の充実
- ・生涯スポーツ推進体制の強化

成果指標	体育施設の利用者数						
説明	健康志向の高まりに応じて、スポーツ機会に対する市民ニーズが高まっていることから、身近に利用できる体育施設のサービス向上による利用者の拡充を目指す。 体育施設の指定管理者からの報告により利用者数を把握。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	213,000	249,241	219,655	193,659	217,795	226,225	252,000
所管課	スポーツ・文化振興課			達成度	★★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに対する市民ニーズの拡大、スポーツ種目の多様化が進む中で、情報提供や体験機会の創出など、市民がスポーツ活動に参画・参加する機会づくりに取り組んでいます。 ・市内において2カ所の総合型地域スポーツクラブが設立され、独立した運営、地域に密着した活動が進められています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・健康志向の高まりから、市スポーツ推進委員協議会や市体育協会などの関係団体、関係機関との連携強化を図りながら、生涯スポーツの普及を図るとともに、学校施設の空き時間利用や開催イベント等の情報発信、各種団体の主体的な活動の支援、活動の場となるスポーツ施設の整備、更なる充実が求められています。 ・総合型スポーツクラブの活動等によって生涯スポーツの更なる普及を進めることが重要であり、そのための学校体育施設スポーツ開放事業の充実が求められています。

基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち

施策1 地域で支えあう福祉のまちづくり

(基本事業)

- ・地域福祉意識の醸成
- ・地域福祉活動の基礎づくりと活動支援

成果指標	地域において、つながりがあると思う市民の割合						
説明	<p>住み慣れた地域で安心して住み続けていくためには地域の支えあいが不可欠であり、市民がお互いに支え合う活動の基礎となる、地域とのつながりの場や機会の拡充を目指す。</p> <p>「栗東市地域福祉計画」の策定のためにH17年度に実施したアンケート調査により現状数値の把握を行い、H23の最終評価の段階において、再度アンケート調査を実施する予定。毎年の数値の把握は出来ない。目標数値は、H17調査「地域においてつながりがないと思う市民の割合」の数値の44.3%を当て込む。</p> <p>※調査は5年に1回</p>						
年度	H17実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	36.2	—	—	40.6	—	—	44.3
所管課	社会福祉課			達成度	★★★	単位	%
取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期栗東市地域福祉計画に基づき、一人ひとりが自立した生活を送ることができるよう、自分たちが住んでいる地域を暮らしやすくする取り組みの必要性や相互に支え合う意識の啓発、市民・団体の主体的な福祉活動への機運の醸成に取り組んでいます。 						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する福祉ニーズに対して、要援護者の自立を促すとともに、住みよい地域づくりを推進するためにパートナーシップによる地域づくりを進めていく必要があります。 						

施策2 高齢者が健やかに暮らせるまちづくり

(基本事業)

- ・生きがい対策の充実
- ・高齢者生活の支援
- ・地域包括ケアの推進
- ・介護予防の推進
- ・介護保険の適正運営

成果指標	介護保険認定者の出現率						
説明	高齢化の進展に対応して安定的な介護サービスの確保・提供を図る一方、介護を必要とせず元気に生活できる高齢者の増加を目指す。 65才以上の高齢者に占める介護保険認定者（要介護・要支援含む）の割合。近隣市に比べて低い数値。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	13.41	13.62	13.60	14.14	14.31	14.08	14.00
所管課	長寿福祉課			達成度	★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期栗東市介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービスの整備など、介護サービスの提供体制を整えるとともに、「いきいき百歳体操」などの介護予防、ボランティアや介護事業者との協働による認知症予防の普及啓発を進めています。 ・高齢者が自ら企画・運営する生きがいと健康づくり事業の活動支援をはじめ、老人福祉センターの生きがいづくりや健康増進の場としての活用、老人クラブの活動支援に取り組んでいます。 ・地域包括支援センターにおいて、高齢者の状況に応じた包括的相談支援を行うとともに、介護支援専門員の活動支援を通じて多職種のネットワークづくりに取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、特に75歳以上の高齢者の急増、高齢者や介護家族の多様化する福祉ニーズを踏まえつつ、H27年の介護保険改正により、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化、地域支援事業や生活支援サービスの充実・強化を進める必要があります。 ・高齢者が健康で生きがいを持って暮らしていくため、多様な生きがいづくりや交流、仲間づくりを支援するとともに、高齢者が地域活動やボランティア活動などに参加・参画するための機会・場づくりを進めていく必要があります。 ・老人福祉センターの老朽化、市連合会に加入する単位老人クラブとその会員数の減少などの課題があります。

施策3 障がいのある人の自立と社会参加を促進するまちづくり

(基本事業)

- ・障がいのある人に対する理解の促進
- ・地域生活の基盤づくり
- ・社会参加への支援
- ・就労支援
- ・生活環境の整備

成果指標	一般就労への移行者数						
説明	目標数値は目標年次までに福祉就労から一般就労に移行した人数。栗東市障がい福祉計画の目標値と整合。「栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会」による進捗管理。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	2	3	6	9	6	16	4
所管課	障がい福祉課			達成度	★★★★	単位	人
成果指標	施設の入所者の地域生活への移行者数						
説明	障がいのある人が自立し、地域で生きがいのある生活を営むことができるよう、就業機会の拡充と地域における意識・受入れ体制の充実を目指す。 目標数値は目標年次までに移行した人数。栗東市障がい福祉計画の目標値（H23、3人）と整合。「栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会」による進捗管理。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	1	1	0	1	1	0	5
所管課	障がい福祉課			達成度	★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのボランティアの協力を得ながら障がいに対する理解を深める各種事業の開催、手話通訳・要約筆記者の派遣や手話講座の開催に取り組むとともに、各種事業の幅広い広報やホームページでの情報発信を行い、市民の理解と意識啓発に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労への移行が見られるものの、安定した就労に結び付かないケースが少なく、定着支援、福祉的就労ができる事業所の安定的な確保が必要です。 ・障がい者が安心して地域生活を行えるよう、障がい者のニーズを把握しつつ、障がい者本人や家族への支援、関係機関が連携した相談支援ネットワークづくりが必要です。 ・地域住民の参加やボランティアの育成、地域と障がい者との交流会やボランティアの活動機会の充実を進めるとともに、福祉制度や各種事業についてより分かりやすい、魅力ある内容としての情報発信が必要となっています。

施策4 子どもの健やかな育ちを支えあうまちづくり

(基本事業)

- ・就学前保育・教育の充実
- ・地域子育ての支援
- ・ひとり親家庭への支援
- ・家庭養育の支援
- ・発達支援の充実

成果指標	4月当初の待機児童数						
説明	募集定員を超えて入所希望した人数。(全園合算による集計につき、各園単位では待機児童がいても全体ではないケースもある。)						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	33	10	10	12	6	1	0
所管課	幼児課			達成度	★★★	単位	人
成果指標	自立支援教育訓練給付金の利用者						
説明	核家族化やひとり親家庭の増加に対応した、保育サービスの向上及び自立のための就業支援の充実を図る。 H19からの新制度で、数値は毎年の利用者数。給付金額は教育訓練費用の1/2だが、H23までの間は政府の経済対策により1/1。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	1	2	0	0	0	0	3
所管課	子育て応援課			達成度	★	単位	人
成果指標	一年間の人口千人当たりの児童虐待の相談件数						
説明	家庭に対する相談・指導や教育の充実によって、児童虐待の未然防止及び早期発見を推進する。 虐待相談件数÷人口×1000人により算出。目標数値は、48件÷67,300人×1000人=0.713により算出。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	0.82	1.11	0.95	2.67	2.69	2.97	0.71
所管課	子育て応援課			達成度	★	単位	件

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の待機児童数の減少に取り組んでいます。 ・母子家庭・寡婦の安定した就労に繋げるため、相談への対応・助言、高等技能訓練促進費等事業の活用など、ひとり親家庭の自立支援に取り組んでいます。 ・子どもの虐待防止・早期発見に向けて、関係機関や地域住民等の連携強化、栗東市要保護児童対策協議会の体制づくりに取り組んでいます。 ・発達支援室による相談・支援、保・幼への巡回訪問の実施に加え、たんぽぽ教室・幼児ことばの教室における就学前の幼児の発達支援などにより支援体制の充実に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消を継続するためには、市民の保育ニーズの把握とともに、児童数に対する適切な環境と職員の確保が必要となっています。 ・ひとり親家庭の自立支援について、支援が必要な人への適切な情報発信、当事者のニーズ把握、相談体制の充実、継続した事業展開を見据えた安定的な財源の確保が必要となっています。 ・児童虐待については、保護者の健康状態や養育力不足などが関連し、問題への対

応が複雑化しているとともに、心理的虐待の増加、保護者自身が虐待と理解していないケースが見られるなどの課題が見られます。

- 発達障がい支援は学齢期以降の支援体制の整備、市民への発達障がい理解の啓発、学校・園、支援者の研修の充実と共に職員の専門性向上、職員の確保が必要となっています。

施策5 社会保障で安心して暮らせるまちづくり

(基本事業)

- ・ 保険制度の適正な運営
- ・ 国民年金制度の理解促進
- ・ 生活困窮者への自立支援

成果指標	生活保護世帯のうち、生活自立できた割合						
説明	社会保障制度を効果的に活用しながら、将来の生活自立に向けた支援を推進する。 生活保護世帯と生活保護廃止世帯の合計に対し、生活自立（働収増・転入・年金等の給付金増・縁者引取り）できた人の割合。（H20：7÷（175人+32人）=3.38人）						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	3.38	1.20	3.13	3.10	6.70	6.00	3.50
所管課	社会福祉課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活相談や指導機能の強化により、生活保護世帯等の自立を促進するとともに、将来の経済的自立と生活意欲の促進を基本として、生活実態の把握と適正な保護の実施、就労支援など日常生活の安定化に取り組んでいます。 ・ 国民健康保険や後期高齢者医療保険、国民年金などの公的制度について、広報やホームページ、出前トークなどにより周知・啓発に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい経済情勢や社会情勢の変化、高齢化の急速な進展により、生活困窮者が増加傾向にある中で、支援が必要な方への適切な保護の実施が求められています。 ・ 後期高齢者医療保険制度新規移行者の保険料納付について、高齢者に配慮した啓発が必要となっています。 ・ 無年金者が生じないように、国民年金の対象者や未加入者、未納者の把握、将来受け取る年金額への影響も合わせて年金制度を周知・啓発することが必要となっています。

基本政策4 安全・安心に暮らせるまち

施策1 災害に強いまちづくり

(基本事業)

- ・道路対策
- ・河川対策
- ・住宅対策
- ・急傾斜地の崩壊対策
- ・水害対策
- ・教育施設の耐震化

成果指標	市道の整備延長（都市計画道路、市道新設改良事業の促進）						
説明	目標数値の内訳（青地新田坊袋線0.57km、大門野尻線0.28km、霊仙寺線0.78km）。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	—	0.5	1.3	1.3	1.3	1.4	1.6
所管課	道路・河川課			達成度	★★★★	単位	km
成果指標	一級河川の整備延長（葉山川及び金勝川平地化事業の促進、中ノ井川整備事業の促進）						
説明	災害の未然防止及び災害発生時への迅速・適切な対応を図る基盤として、道路・河川の計画的な整備を推進する。 目標数値の内訳（金勝川の平地化促進事業0.9km(全体1.8km)）。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.6	0.9
所管課	国・県事業対策課			達成度	★★★	単位	km
成果指標	防災拠点となる公共建築物の耐震化率						
説明	防災拠点とは、栗東市地域防災計画に定める防災拠点および避難所を指す。（市役所、市民体育館、給食センター、コミセン、小学校等の60施設）目標数値については、栗東市耐震改修促進計画に定めるH27目標値100%と整合したもの。						
年度	H18実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	75.0	83.0	92.0	92.0	95.9	96.0	100.0
所管課	住宅課			達成度	★★★★	単位	%
成果指標	すべての校舎・体育館における耐震性能値（Is値）0.7以上の確保						
説明	緊急時の防災拠点となる公共施設や、子どもの安全・安心の確保及び緊急時の避難施設となる学校施設の耐震化を推進する。 数値の算出方法は、耐震化実施棟数÷対象棟数（67棟）。数値についてはホームページにも公開。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	72.8	75.0 73.0	87.5 97.0	87.5 100.0	87.5 100.0	87.5 100.0	100.0
所管課	幼児課（上段） 教育総務課（下段）			達成度	★★★ ★★★★	単位	%

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市道及び一級河川については、整備計画に基づき、段階的な整備を進めています。 ・防災拠点となる公共施設について、栗東市耐震改修促進計画に基づき、計画的な
--------	---

(実績)	<p>耐震化工事を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての校舎・体育館における耐震性能値 0.7 以上の確保に向けて、国庫補助制度を最大限に活用しながら耐震化工事を進め、H23 年度に目標を達成しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後の市道整備については、関連する事業との調整を図りつつ、整備の優先順位を明確にし、地域・地権者等の理解と協力を得ながら一路線ごとに集中して整備を推進する必要があります。 一級河川の整備については、関連事業との調整を図りつつ、十分な事業成果が得られるよう計画的な対応が必要となっています。 国が進めている非構造部材の耐震化について、点検及び耐震化を計画的に進めていくことが必要となっています。

施策2 防災・災害危機管理のまちづくり

(基本事業)

- ・防災意識の高揚、自主防災組織の育成
- ・地域消防力の強化
- ・防災基盤の整備
- ・災害危機管理体制の充実

成果指標	消防水利の基準数の達成率						
説明	消防水利（消火栓・防火水槽）の基準数(必要数) 毎年湖南広域行政事務組合が発行する消防年報により把握。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	79.2	75.4	77.3	79.5	82.7	86.5	80.0
所管課	危機管理課			達成度	★★★	単位	%
成果指標	消防団員の定数充足率						
説明	条例に消防団の定数が98人に定められている。(各消防団：4団×20人 女性：15人 正副団長：4団×2人)						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	96.0	99.0	95.9	94.9	92.4	90.7	100.0
所管課	危機管理課			達成度	★	単位	%
成果指標	自治会における自主防災組織の組織率						
説明	大規模自然災害発生時には、市民自らの行動と地域の助け合いが被害の軽減や復旧において重要なことから、地域の自主防災体制の充実を図る。 全自治会（120自治会）に対する自主防災が組織されている自治会の割合。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	83.6	83.6	90.2	89.7	89.0	88.2	100.0
所管課	危機管理課			達成度	★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防水利の不足地域において、計画的に消火栓や耐震性貯水槽の設置に取り組むとともに、毎年、全ての消火栓の点検・更新に取り組んでいます。 ・機能別分団（山林分団）を設立するとともに、防災訓練や出前トークなどによる市民の防災意識の高揚、自主防災組織の設立支援に取り組んでいます。 ・災害時応援協定の締結など危機管理体制を充実するとともに、同報系無線の整備やJアラート情報の発信など、市民への情報発信の基盤整備に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消防水利の不足地域、防火水槽や消火栓の設置が困難な箇所における対策が必要となっています。 ・市民への自助・共助の啓発、分団の団員確保、自主防災組織未結成の自治会に対する設立支援、災害備蓄の促進などの地域防災力を高めるとともに、災害危険地域の解消を進めることが必要となっています。 ・避難所等での電源確保のための資機材の充実、情報収集設備の充実、公共施設以外の避難所としての活用、防災無線の難聴地域や情報が伝わりにくい高齢世帯などへの情報伝達の検討などの対策が必要となっています。

施策3 防犯のまちづくり

(基本事業)

- ・防犯体制の充実
- ・防犯意識の高揚及び自主防犯組織の育成
- ・防災環境の整備

成果指標	市内で発生する犯罪率の低いまち						
説明	防犯に対する市民の意識が高まっており、今後も本市が住みよい環境を維持・発展させていく上で基礎となる指標として、犯罪の発生の抑制・防止を推進する。 滋賀県より定期的に送られてくる犯罪統計資料により把握。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	2	2	3	3	3	1	1
所管課	危機管理課			達成度	★★★★	単位	位

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報や出前トークなどを通じて、犯罪に合わないための啓発に取り組むとともに、地域防犯活動の促進に努めており、自主防犯活動として青色パトロールを実施する団体の増加が見られます。 ・「子ども110番の家」運動に取り組む栗東市青少年育成市民会議の主体的な活動支援に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域、警察、行政が連携しながら、犯罪に関する情報発信や市民の主体的な防犯活動の支援、啓発事業等の推進を図るとともに、地域コミュニティの維持・強化、若年層のモラル向上、防犯ボランティアの育成・活動支援などの防犯対策が必要となっています。 ・「子ども110番の家」運動に関係する団体の連携強化、活動の継続が必要となっています。

施策4 交通安全のまちづくり

(基本事業)

- ・交通安全思想の普及徹底
- ・道路交通環境の改善整備

成果指標	交通事故死者数						
説明	市民1人あたりの当事者事故件数は減少傾向にあるが、渋滞や通過交通の発生などが生じており、市民市域の啓発等による道路交通の安全の向上を目指す。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	1	1	2	0	2	3	0
所管課	生活交通課			達成度	★	単位	人
成果指標	違法駐輪の警告件数						
説明	栗東市自転車等駐車秩序の確立に関する条例に定めるJR栗東・手原駅前の禁止区域内における違法駐輪の警告件数。目標値は過去3年間の数値の平均値で、警告件数は増加傾向にある。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	3,479	3,190	1,824	1,720	2,691	1,936	2,400
所管課	生活交通課			達成度	★★★★	単位	件

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な啓発活動や交通安全教育を実施することで交通事故死亡ゼロを継続するとともに、市内の交通安全推進団体との連携・協働のもと、交通安全の保持・教育・啓発活動に取り組んでいます。 ・通学路や生活道路において、交通安全施設の修繕・整備など、交通事故防止等の安全対策を進めています。 ・JR栗東駅・JR手原駅、一般公道における放置自転車等の撤去、駅利用者の一時的預かり・定期預かりの駐輪ニーズへの対応など、道路交通の安全確保と放置・迷惑駐輪の防止に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、第9次栗東市交通安全計画に基づき、具体的かつ年次的な安全対策計画を策定・実施するとともに、交通安全推進団体の維持・活性化に向けた支援が必要となっています。 ・特に通学路の安全対策について、関係機関等と連携を図りながら具体的な対策を推進していくことが求められています。 ・今後の駐輪ニーズの増加に配慮しつつ、関係者等と連携しながら、放置自転車対策・計画的な駐輪対策を継続していくことが必要となっています。

施策5 消費者を守るまちづくり

(基本事業)

- ・消費者の育成と支援

成果指標	消費者生活に係る出前トークなどの参加人数						
説明	消費生活をめぐる状況の複雑・多様化に対し、市民自らが賢い消費生活を送ることができるよう、学習活動等への参加者の拡充を目指す。 地元からの要望により実施する出前トークなどの参加者数。目標数値は H20 の5割増にて設定。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	70	70	225	225	80	—	100
所管課	生活交通課			達成度	★★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の相談員を配置し、消費者トラブルや被害相談などの消費生活に関する相談に対する適切な助言、斡旋や情報提供に取り組んでいます。 ・消費者団体の活動を通じて、商品適正調査を実施し、安全な商品やサービスの確保に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、新しい悪徳商法や消費者トラブルが発生していることから、研修等を通じて相談員の対応力を維持・向上することと合わせ、継続した専門の相談員の確保が求められています。 ・商品適正調査を含めた消費者団体の活動については、消費生活の安定・向上を目指し、継続して活動支援に取り組む必要があります。

【基本目標 2 環境・創出のまち】

「基本目標2 環境・創出のまち」全体達成度 成果指標合計：16個（内指標数：14個）

基本政策	指標数	達成度			
		★ (~25%未満)	★★ (25%~50%未満)	★★★ (50%~75%未満)	★★★★ (75%以上)
地球にやさしい環境を推進するまち	5	2	0	0	3
快適で美しい生活環境のまち	5	2	0	0	3
まちを支え、活力を創出する産業のまち	6	2	1	0	3
計	16	6	1	0	9

「基本目標2 環境・創出のまち」の評価と課題

「基本政策1 地球にやさしい環境を推進するまち」については、環境基本計画に基づく市民の環境意識の醸成をはじめ、様々な公害防止対策、H24年に施行した「栗東市路上喫煙防止に関する条例」、H22年4月から取り組んでいる家庭系ごみの有料化などにより、地球にやさしい環境を推進するまちづくりが進められています。今後も、着実にこれまでの取り組みを継続するとともに、環境にやさしいライフスタイルを見直す機会づくりに繋げるなど、より一層の環境意識の醸成、主体的な活動の実践に向けた取り組みが求められています。

「基本政策2 快適で美しい生活環境のまち」については、緑化や良好な景観形成に向けた市民意識の醸成に取り組むとともに、公園の適切な整備・維持管理、都市計画マスタープラン等に基づく適正な土地利用誘導、ライフラインとなる水の安定供給など、快適で美しい生活環境づくりの取り組みが進められています。その一方で、多様化する市民のライフスタイルやニーズ、高齢化の進展等を踏まえ、いけがき設置奨励補助金制度などの既存の各種支援制度等の見直しや新たな仕組みづくりに取り組むとともに、施設の計画的な維持管理・更新に向けた取り組みが求められています。

「基本政策3 まちを支え、活力を創出する産業のまち」については、農地や森林の保全・活用との調整を図りながら、企業誘致や産業用地の整備、商工業の活性化など、地域に活力をもたらす産業創出のまちづくりが進められています。その一方で、農林業従事者の高齢化や担い手不足などの全国的な課題に対応しながら、将来にわたって農地や森林の保全・活用を図り、商工業の振興、更なる企業誘致の促進など、まちの活力を創出する取り組みが求められています。

基本政策 1 地球にやさしい環境を推進するまち

施策 1 地球環境問題解決に貢献するまちづくり

(基本事業)

- ・環境基本計画・行動計画の推進
- ・生活環境の保全

成果指標	河川水質・大気・騒音の環境基準の達成割合						
説明	環境基準は、人の健康の保護、生活環境の保全を維持する上で望ましい環境条件として設定されるものであり、河川の水質、大気、騒音における環境基準の改善を目指す。数値は市環境年次報告書により把握。ホームページにも公開。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値							
河川水質	74	85	82	80	79	69.5	80
大気	100	100	100	100	100	100	100
騒音	92	92	93	92	97	95	95
所管課	環境政策課		達成度	河川水質 ★	大気 ★★★★★	騒音 ★★★★★	単位 %

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市環境基本計画に基づき、環境学習などを通じた市民の環境意識の醸成、ゴーヤ苗の配布による温室効果ガスの削減に取り組むとともに、CO2 削減に向けた市民・事業者・行政の主体的な取り組みを促進しています。 ・県と連携した事業所等への立ち入り調査・指導、河川水質や大気、騒音など市内の環境状況等の調査・測定、浄化槽の放流水調査など、公害防止対策を継続するとともに、市営墓地の拡張整備や、生活環境保全推進員を中心とした自治会等による地域環境保全活動の実践など、公衆衛生の保全に取り組んでいます。 ・H24年に「栗東市路上喫煙防止に関する条例」を施行し、公共の場所等の快適環境の保全に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、身近なところから環境負荷低減の実践や行動に繋がるよう市民への啓発活動を充実するとともに、ライフスタイルやビジネススタイルのあり方を見直す機会づくり、市民自らが組織する環境活動団体の設立に向けた機運づくりに繋げていく必要があります。 ・電力事業者と連携を図りながら、公共施設への再生可能エネルギー設備の導入を検討するとともに、栗東市地球温暖化対策実行計画を策定し、目標設定に即した取り組みを市自らが率先して行動していく必要があります。 ・県や関係機関と連携を維持・充実しながら、公害防止対策、公衆衛生の保全に向けた取り組みを着実に継続していく必要があります。

施策2 資源循環型社会を推進するまちづくり

(基本事業)

- ・ごみの発生抑制と資源化・減量化の推進

成果指標	ごみの資源化率						
説明	環境センターに搬入されるすべてのごみの量に対する資源化されたものの量の割合。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	28.8	27.6	24.7	26.3	25.4	23.1	30.0
所管課	環境政策課、環境センター			達成度	★	単位	%
成果指標	市民一日当たりの家庭可燃ゴミの排出量						
説明	<p>本市においては、市民一人当たりのごみ排出量は比較的少なく抑えられていますが、今後の人口増加や生活様式の多様化においても排出量を抑制するため、ごみのさらなる減量化・資源化を目指す。</p> <p>環境センターに搬入される家庭可燃ごみの量÷人口÷365日により算出。(近年減少傾向にあるが、ごみの有料化による影響が懸念)</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	381	399	328	337	344	344	370
所管課	環境政策課、環境センター			達成度	★★★★	単位	g

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの発生抑制や環境意識の醸成に向けて、H22年4月から家庭系ごみの有料化を開始し、大きな混乱や不法投棄の増加もなく、現在まで継続しています。 ・生活環境保全推進会議等を通じて、市民・事業者・行政の連携によるごみの分別や発生抑制の啓発・取り組みを推進するとともに、環境センターの適正な管理運営、一般廃棄物の分別収集の徹底、廃棄物の適正な処理に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の実現に向けて、これまで取り組んできた4R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ）を継続しながら、市民の環境意識を更に高める啓発活動を充実し、更なる取り組みの活性化を図る必要があります。 ・ごみの発生抑制やリサイクルに取り組む市民環境団体の育成、主体的な実践活動を育む必要があります。 ・「栗東市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づく一般廃棄物の適正な処理、「栗東市分別収集計画（第7期）」に基づく分別収集や4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の推進、ごみの減量化及び資源化を進めていく必要があります。 ・環境センターは特殊なプラントであるため、定期点検や計画的な修繕など、予防保全の取り組みを基本として、維持管理コストの縮減・平準化、施設の長寿命化を進めていく必要があります。

基本政策2 快適で美しい生活環境のまち

施策1 潤いのある緑にあふれたまちづくり

(基本事業)

- ・公園の整備・管理の推進
- ・緑化の推進

成果指標	公園整備面積（児童遊園＋都市公園）						
説明	街の公園整備面積（児童遊園＋都市公園）						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	35.6	35.6	35.6	36.1	36.1	36.9	36.7
所管課	都市計画課			達成度	★★★★	単位	ha
成果指標	いけがき設置奨励補助によるいけがき総延長						
説明	栗東市景観条例に基づき、市民と行政の協働によって、風格のあるまちづくりを実現していく上で重要な役割を担う緑の維持・創出を目指す。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	1,918	1,928	1,928	1,940	1,949	1,949	2,500
所管課	都市計画課			達成度	★	単位	m

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が自主的に進めるまちづくりの一環として、栗東市自治会活動交付金の中で児童遊園の主体的な維持管理を進めています。 ・指定管理者制度や公共的団体への管理委託等のもとで、都市公園の適切な維持管理に取り組んでいます。 ・イベントや学習会、関係団体と連携した緑のまちづくりへの取り組み支援などにより、広く市民の緑化に対する意識啓発を進めるとともに、良好な景観形成等にも寄与するいけがき設置の支援に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東健康運動公園については、整備計画の見直し、早期整備に伴う開設ができる仕組みの検討が必要となっています。 ・身近な公園は量的には充実してきていますが、住民の自発的な維持管理への取り組みや維持管理方法の見直し、公園維持管理における基礎データの見直しが必要になっています。 ・市民が身近に利用できる比較的大規模な公園・緑地が少なく、潤いが感じられない公園を見受けられることから、市民ニーズに合った計画的な公園・緑地の配置を検討する必要があります。 ・多様化する市民のライフスタイルや緑に対する市民ニーズを踏まえ、いけがき設置奨励補助金制度を見直すとともに、緑地協定の締結など、緑化促進を図る制度の検討が必要となっています。

施策2 住環境が整ったまちづくり

(基本事業)

- ・適正な土地利用の推進
- ・土地区画整理事業の推進
- ・親しみと潤いのある道づくり
- ・魅力ある都市の川づくり
- ・良質な住宅の維持・向上
- ・公共下水道維持管理の充実

成果指標	下水道普及率						
説明	すでに市民生活において必要不可欠な都市基盤となっている下水道について、今後も計画的な整備・普及を推進する。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	97.3	97.9	98.1	97.9	98.6	98.6	99.0
所管課	上下水道課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢や地域の実情を踏まえた都市計画の変更・見直し、安養寺地区地区計画の見直しを行うとともに、各種法規制等に基づき、適正・良質な開発・建築を誘導しています。 ・組合施行の土地区画整理事業3地区（目川中央、手原東部、上砥山川南）については、計画的な事業推進により、事業が完了しています。 ・道路愛護・河川愛護の取り組みへの参画呼び掛けや活動の実践に取り組むとともに、美知メセナ制度による道路の美化・緑化活動への参画、道路施設の維持管理や河川環境の維持向上に取り組んでいます。 ・市営住宅の日常的な維持管理・修繕に取り組むとともに、「栗東市住生活基本計画」・「栗東市公営住宅等長寿命化計画」に基づくストック活用・施設の長寿命化にも取り組んでいます。 ・公共下水道事業を計画的に推進しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の本格的な人口減少・高齢社会の到来を見据えたコンパクトな市街地形成に向けて、上位計画の見直しや土地利用動向の変化に応じて、都市計画マスタープランの見直しを行い、適正な土地利用を誘導する必要があります。 ・都市計画と農林業との健全な調和を図りつつ、健全な市街地形成を計画的に進めていく必要があります。 ・高齢化等による人員不足や草刈り機等の資機材不足等により、沿線の自治会による道路愛護・河川愛護活動が難しくなっている状況を踏まえ、市民主体による道路の美化・緑化や美しい川づくりの仕組みづくりが必要になっています。 ・「舗装修繕計画」や「橋梁長寿命化計画」、「栗東市公営住宅等長寿命化計画」等に基づいて、計画的な施設の維持管理や長寿命化、維持管理コストの平準化を進めていく必要があります。 ・未整備区域の解消、計画的な維持管理や管路の長寿命化の推進とともに、市民の良好な住環境保全に対する意識啓発を図りながら、下水道接続を促進し、水洗化率の向上を図る必要があります。

施策3 美しい都市景観のまちづくり

(基本事業)

- ・ 風格ある都市景観の形成及び市民意識の高揚

成果指標	景観協定の締結に向けた景観まちづくり市民団体の認定数						
説明	風格ある都市景観の形成に向け、より多くの市民が景観の重要性を理解し、主体的に取り組む意識を育てていく先導的な活動として、景観まちづくり市民団体の認定を目指す。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	0	0	0	0	0	0	3
所管課	都市計画課			達成度	★	単位	団体

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「栗東市景観条例」や「百年先のあなたに手渡す栗東市景観計画」に基づき、市民の景観に対する意識づくりや景観に取り組む仲間づくりに取り組むとともに、風格づくり会談を通じた良好な景観形成を進めています。 ・ 「栗東市景観条例」に位置付けた「堂々りっとう景観記念日」において、地域における景観づくりイベントの開催や景観啓発パネルの展示等に取り組むとともに、広報りっとうでのPR活動等により、市民の景観意識の醸成を進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の景観に対する意識啓発の充実、景観づくりの担い手の育成を図るとともに、風格づくり会談が形骸化しないよう、実績を確認しつつ、具体的な取り組み方法や運用方法を点検・改善していく必要があります。 ・ 屋外広告物条例の制定に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策4 ライフラインが整ったまちづくり

(基本事業)

- 水の安定供給・給水サービスの向上
- 経営の効率化

成果指標	上水道有収率						
説明	将来にわたる安定的な水の供給には水道事業の健全経営が不可欠なことから、その基礎となる有収率の維持に努める。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	94.0	95.0	98.6	95.4	96.0	95.7	94.0
所管課	上下水道課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> • 水源の保全・整備による自己水の安定確保に向けて、水源地の整備・改修や配水池の耐震化等に取り組んでいます。 • 安全でおいしい飲料水の水質保全に向けて、「栗東市水道水質検査計画」に基づき、水質検査に取り組んでいます。 • 水道事業として一括請求や包括業務委託等に取り組むとともに、「(新)集中改革プラン」に基づき水道料金を改定し、受益者負担の適正化を進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> • 将来にわたって水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な整備、水道施設の更新・耐震化が必要となっています。 • 水源となる地下水や表流水の上流域の状況把握・監視とともに、定期的な水質検査の適正な実施、水質管理の効率化を図る必要があります。 • 有収水量が年々減少する中で、収入の確保や収納率の向上に加え、事務の見直し等による経営の効率化を進める必要があります。

基本政策3 まちを支え、活力を創出する産業のまち

施策1 新たな活力拠点を創出するまちづくり

(基本事業)

- ・ 交通インフラ整備による広域連携の強化
- ・ 産官学連携による企業立地の促進

成果指標	当該地域の都市計画道路（2路線）の整備延長(新規)						
説明	新幹線新駅跡地における後継プランに基づく道路整備（下鉤出庭線、手原蜂屋線）						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	—	—	0	0	0	0.4	2.1
所管課	地域まちづくり課			達成度	★	単位	km
成果指標	当該地域の企業立地数（新規）						
説明	交通の要衝として恵まれた地域特性をもつJR栗東駅とJR手原駅を結ぶ当該地域において、本市の活性化に向けた交通基盤の整備と企業の立地誘導を推進する。 新幹線新駅跡地における後継プランに基づく環境・新産業関連の企業立地						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	—	—	1	2	0	3	2
所管課	地域まちづくり課			達成度	★★★★	単位	社

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線新駅跡地において、「まちづくり基本構想（後継プラン）」に基づき、広域連携を支える幹線道路の整備を計画的に推進するとともに、企業立地の促進に取り組んでいます。 ・ 企業立地促進法による産業集積に向けて、企業誘致に取り組んでいます。 ・ JR 栗東駅、JR 草津線の利便性向上に向けて、複々線化や複線化による列車の増便、新快速の停車等について、継続して、要望活動に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後5年間で整備する予定区間については、中ノ井川ショートカット事業や(都)片岡栗東線の整備等と調整を図りながら、一体的に整備を推進する必要があります。 ・ 企業立地促進法による新たな基本計画期間や、「滋賀健康創生」特区の活用などを図りながら、周辺大学等との連携も視野に入れつつ、土地の情報発信や PR、企業が進出しやすい環境を整え、引き続き、企業誘致に取り組む必要があります。 ・ JR 栗東駅の利便性向上に向けて、バリアフリー構想の策定、構想に基づくエレベーター整備を計画的に推進する必要があります。

施策2 地域農業を育むまちづくり

(基本事業)

- ・農地の保全・活用
- ・地産地消の推進
- ・農業生産の充実
- ・農業生産基盤の整備
- ・農業集落の整備

成果指標	特定農業団体数						
説明	<p>都市化の進展に伴い減少傾向にある農地を将来にわたって維持・保全し、環境・景観・産業・食育・防災など多面的な役割を担う地域農業の育成に向け、営農体制・組織の強化を目指す。</p> <p>特定農業団体とは農業委員会が認める法人化した営農組合で、目標数値は目標年次において認定された団体数。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	16	16	16	16	16	16	19
所管課	農林課			達成度	★	単位	団体

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・「栗東農業振興地域整備計画」に基づき、農地の保全・活用を図るとともに、農業委員会と協力し、遊休農地及び荒廃農地の実態調査に取り組んでいます。 ・耕作放棄地の増加要因となる獣害対策として、防止ネットや電柵の設置、個体駆除等に取り組んでいます。 ・農業経営基盤強化促進法の規定に基づき、全ての特定農業団体の同意を得た農地利用改善団体の農地利用規定の延長を行っています。 ・栗東市園芸施設整備事業等を活用し、果樹・野菜等の栽培促進に取り組んでいます。 ・六地蔵地区において圃場整備事業の実施に向けた調査を進めるとともに、15 活動組織において世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策に取り組んでいます。 ・農業集落排水処理施設の適正管理に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農地転用や耕作放棄などによる耕作農地が減少傾向にある中で、農業後継者の育成や新たな担い手の確保、生産者の組織化の拡大等により、農業振興地域においては、将来にわたり、農地を農地として保全していく必要があります。 ・中山間地域の耕作条件の不利な地域については、中山間地域直接支払い制度等を活用し、農地の涵養など多面的な機能維持を図る必要があります。 ・農作業効率の向上、農業用水の安定供給を図るため、農道や用水路等の農業生産基盤の整備を進めるとともに、地域ぐるみで農村まるごと保全向上対策を推進していく必要があります。 ・引き続き、農業集落排水処理施設の適正管理に取り組むとともに、県等との連携のもとで農地周辺の環境整備や獣害防止対策等を進める必要があります。

施策3 緑豊かな森林を生かしたまちづくり

(基本事業)

- ・ 林業経営の振興
- ・ 山間地域の活性化
- ・ 森林資源の保全と基盤整備
- ・ ボランティア活用による森林づくり

成果指標	間伐実施面積						
説明	環境・防災・レクリエーションをはじめとして多様な役割を担い、本市の魅力のひとつでもある豊かな森林について、市民参画等により保全・育成に努める。						
年度	H18~20年度平均	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	14.5	26.0	13.0	7.0	18.0	21.0	15.0
所管課	農林課			達成度	★★★★	単位	ha

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の未来館やその周辺の森林などをフィールドとした森林環境学習「やまのこ」事業等により、こんぜの里周辺の活性化に取り組んでいます。 ・ 県と連携を図りながら、県民の森の維持管理・活用に取り組んでいます。 ・ 「琵琶湖森林づくりパートナー協定」に基づく活動により、森林資源の保全、環境重視の森林づくりに取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまのこ」事業に加え、造林育林事業や琵琶湖森林づくり事業等を積極的に活用し、広く一般を対象とした森林体験学習やボランティア活動の充実を図ることにより、引き続き、こんぜの里周辺の活性化に取り組む必要があります。 ・ 栗東市森林整備計画に基づき、作業路網の整備や林道の維持管理など、林業経営の基盤づくりを計画的に進めるとともに、森林・林業関係団体の組織運営の支援、提案型集約化施業の促進を図る必要があります。 ・ 「道の駅こんぜの里りっとう」や「こんぜの里バンガロー村」などの適切な管理運営に向けた検討が必要です。

施策4 商工業の振興と就労推進のまちづくり

(基本事業)

- ・商工振興ビジョンの策定
- ・工業の振興
- ・商業の振興
- ・就労推進
- ・低炭素社会の構築

成果指標	就職困難者の年間就職者数						
説明	雇用の維持・創出は、まちとして産業振興を進める主要な目的のひとつであり、様々な事情にある市民の就業機会の創出・拡充を目指す。 市（湖南地区）就労支援計画に定める就職困難者（働く意欲がある障がい者・ひとり親家庭・同和地区・学卒無業者・外国人等）が窓口相談を通じ就職した人数。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	3	3	5	3	3	8	5
所管課	経済振興労政課			達成度	★★★★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業振興基本条例の制定、商工振興ビジョンの策定に取り組むとともに、具体的な施策の計画的な実施に向けて、中小企業や小規模企業の悉皆調査や市民ニーズの把握を進めています。 ・就労支援相談員を中心とした就業相談・指導を行うとともに、定期的な企業訪問による雇用や就労に関する啓発や情報提供に取り組んでいます。 ・栗東市商工会と連携を図り、森林整備やレンタサイクル事業等の低炭素社会の構築に向けた取り組みを進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや地域ニーズを把握しつつ、商工振興ビジョンに掲げる施策の進行管理（ロードマップ）を明確にするとともに、商工業の振興を図る各種施策を計画的に進めていく必要があります。 ・関係機関や市内企業との連携強化を図り、引き続き、情報の迅速化・共有化、地域に根差した就労支援、安定就労に向けた意識づくり等に取り組む必要があります。 ・低炭素社会の構築に貢献する取り組みとして、森林整備やレンタサイクル事業等について市民や事業者への情報発信、理解・協力の呼び掛けを充実する必要があります。

施策5 地域に活力をもたらす産業創出のまちづくり

(基本事業)

- ・企業誘致
- ・トップセールスの展開
- ・社会的企(起)業の振興

成果指標	トップセールスの実施数						
説明	<p>市内企業の流出を防ぎ、新たな企業を誘致する上では、まちとしての積極的な姿勢を企業に示すことが重要であることから、企業へのトップにセールスを展開し企業との連携強化を図る。</p> <p>目標数値は目標年次までに実施したトップセールスの企業数。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	16	6	2	13	32	27	50
所管課	経済振興労政課			達成度	★★	単位	社

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業立地や既存企業の市外流出防止に向けて、県や周辺市町等と連携した企業誘致情報の取得に取り組むとともに、企業へのトップセールスを展開しています。 ・「まちづくり基本構想（後継プラン）」に基づき、新幹線新駅跡地地区において企業立地を進めるとともに、「東部まちづくり総合整備計画」に基づいて新たな産業用地の整備に向けた取り組みを進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県や周辺市町等に加え、不動産事業者や金融機関、庁内関係部署等との連携・情報収集を充実しながら、トップセールス事業の積極的な展開などにより、引き続き、企業誘致を推進する必要があります。 ・企業誘致を図る用地が極めて少ない中で、新幹線新駅跡地地区とともに、国道1号バイパス整備に合わせた企業の進出ニーズの高まりを踏まえ、「東部まちづくり総合整備計画」に基づく新たな産業用地の整備を計画的に進めていく必要があります。

【基本目標3 愛着・交流のまち】

「基本目標3 愛着・交流のまち」全体達成度 成果指標合計：11個（内指標数：8個）

基本政策	指標数	達成度			
		★ (~25%未満)	★★ (25%~50%未満)	★★★ (50%~75%未満)	★★★★ (75%以上)
人が育ち、力を発揮できるまち	6	2	2	0	2
個性を生かす地域文化のまち	2	0	1	0	1
広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち	2	2	0	0	0
多文化交流のまち	1	0	0	0	1
計	11	4	3	0	4

「基本目標3 愛着・交流のまち」の評価と課題

「基本政策1 人が育ち、力を発揮できるまち」については、自然観察の森等での環境学習の充実、確かな学力の向上を目指したくりちゃん検定の継続実施による子どもの基礎学力の定着について一定の効果がみられます。その一方で、コミュニティセンターを中心とした生涯学習事業への参画、図書館の更なる利用促進など生涯学習のまちづくりの充実を図るとともに、道徳教育や健康増進・体力向上、食育の推進などに向けた取り組みが求められています。

「基本政策2 個性を生かす地域文化のまち」については、栗東芸術文化会館さくらにおいて、文化祭、音楽祭、演劇祭などの多様な事業が展開され、市民が文化・芸術に気軽に参加できる機会づくりや意識づくりの取り組みに関して効果がみられます。引き続き、少子・高齢化や価値観の変化等を踏まえつつ、歴史や文化資源を市民共有の財産として継承する取り組み、市民の誰もが自主的な文化・芸術活動に参画しやすい環境づくりに向けた取り組みが求められています。

「基本政策3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち」については、関係団体と連携し、地域資源を活かしたイベント等の開催、広域・近隣との交流を支える幹線道路の整備等にに取り組んでいます。引き続き、自然や歴史・文化資源などの地域資源を活かした新たな観光資源の創出と活用などによる観光振興のまちづくり、多様な交流を支える道路や鉄道、バス等の利便性向上に向けた取り組み等が求められています。

「基本政策4 多文化交流のまち」については、在住外国籍市民の生活支援、交流事業を通じた異文化の相互理解を深める取り組みを進めています。引き続き、市民への情報発信・理解促進を図りながら、生活相談への対応や多文化交流事業の充実等による多文化共生の推進に向けた取り組みが求められています。

基本政策 1 人が育ち、力を発揮できるまち

施策1 生涯学習のまちづくり

(基本事業)

- ・生涯学習の支援と充実
- ・生涯学習関連施設の利用促進

成果指標	市民1人当りの年間貸出冊数						
説明	<p>活字離れが国語力や子どもの生きる力を育む上で大きな懸念として指摘されることから、比較的利用の活発な図書館サービスの一層の向上を推進し、子どもをはじめ市民が読書習慣を身に付けることを目指す。</p> <p>図書館での貸し出し総数÷人口により算出。(H21:11.5~12.0冊)</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	14.8	11.5	11.4	10.9	9.6	9.4	15.0
所管課	図書館			達成度	★	単位	冊
成果指標	生涯学習講座の参加者数						
説明	<p>「生涯学習のまちづくり宣言」以来、積極的に進めてきた生涯学習の取組みがさらに多くの市民に広がるきっかけとして、生涯学習講座への参加者数の拡充を目指す。</p> <p>各コミセンなどで実施された講座の参加者数。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	8,225	2,539	4,879	4,948	6,810	6,731	8,800
所管課	生涯学習課			達成度	★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターを生涯学習の拠点として位置付け、生涯学習情報の共有を図りながら、生涯学習事業に取り組んでいます。 ・自然観察の森では、前年度の来園者の意見を取り入れながら、来園者のニーズを踏まえたイベントの開催など、環境学習の充実に取り組んでいます。 ・図書館では、電算システムを更新し、予約や貸出状況の確認など迅速かつ確かなサービスを実施しているほか、選書会議を通じた市民ニーズの把握・共有、幼児を対象としたおはなしタイムや小学一年生を対象とした巡回おはなし会の開催、湖南4市による相互貸出しなど、図書館機能の充実に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習のまちづくりの位置付けの明確化、市民ニーズの把握、推進体制の充実等に取り組む、生涯学習事業を充実していく必要があります。また、学習の成果を地域のまちづくりにつなげる支援が必要です。 ・広報やホームページなど、多様な手段による情報発信を充実し、自然観察の森の知名度の向上、来園者の増加を図る必要があります。 ・市民に広く図書館が利用されるよう、休館日を減らす工夫、増加している高齢者の憩いの空間づくり、利用者一人当たりの貸し出し冊数制限の見直し等を進める必要があります。 ・情報化社会に対応した資料のデータベース化等を進めていく必要があります。 ・ボランティアの養成講座等による制度を支える取組みを充実するとともに、子ども読書活動や湖南4市での相互貸出し機能等について、広く市民へ情報発信していく必要があります。

施策2 次代を担う子どもに「生きる力」を育むまちづくり

(基本事業)

- 学校教育の充実
- 家庭・地域・学校の連携強化
- 青少年の健全育成

成果指標	「くりちゃん検定」1回目の認定率(80点以上で認定)						
説明	<p>本市独自の効果的な学習活動として定着してきた「きらりフルチャレンジ～くりちゃん検定～」の継続・発展により、児童生徒の確かな学力と、自主的、意欲的なチャレンジ精神の育成を目指す。</p> <p>目標数値は、年間3回実施する「くりちゃん検定」の1回目で認定された児童生徒数の割合の平均値により算出。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値							
小学校漢字	93.0	95.0	99.0	99.0	99.0	99.0	96.0
小学校計算	96.0	95.0	99.0	99.0	99.0	97.0	98.0
中学校漢字	70.0	—	80.0	77.0	79.0	91.0	85.0
中学校計算	75.0	—	80.0	82.0	78.0	83.0	90.5
所管課	学校教育課		達成度	小学校漢字 小学校計算 中学校漢字 中学校計算	★★★★★ ★★ ★★★★★ ★★	単位	%

取り組み内容(実績)	<ul style="list-style-type: none"> • 確かな学力の向上を図るため、くりちゃん検定を継続実施するとともに、学校における子ども読書活動、道徳教育、健康増進・体力の向上、食育の推進に取り組んでいます。 • 治田小・大宝西小における児童・生徒増に合わせた教室の増築工事、治田西小・葉山東小における大規模改修工事、狭隘な通学路等における通学路のカラー舗装整備等を計画的に進めています。 • 「ありがとうと言える子育て」「家庭教育すすめのススメ」「子育てのための12か条」の配布、民生委員や老人クラブを中心とした地域と学校・園との交流など、家庭と地域と学校・園の連携強化に取り組んでいます。 • 放課後子ども教室などの地域ぐるみで子どもを育てる機会の充実、野外体験活動などの青少年の社会・自然体験の機会づくり等を通じて、青少年の健全育成に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> • くりちゃん検定の持続可能な仕組みの構築、道徳の教科化への対応、基本的な生活習慣の定着など、子どもの学習意欲の向上等を図る必要があります。 • 引き続き、教育関連施設や通学路の安全・安心の確保に向けた取り組みを計画的に進めていく必要があります。 • 地域サポーターなどの多様な主体の連携を図りながら、引き続き、家庭と地域と学校が連携して子どもを育てる環境整備を進めていく必要があります。 • ボランティアスタッフの確保や、社会情勢等を踏まえた事業の再構築を図りながら、地域で子どもを育てる環境づくりを継続して進めていく必要があります。

基本政策2 個性を生かす地域文化のまち

施策1 歴史や伝統文化の香り豊かなまちづくり

(基本事業)

- ・文化財の保護・保全・活用及び保護思想の普及
- ・地域の伝統文化の継承
- ・歴史文化資源を生かしたまちづくり

成果指標	指定文化財の数						
説明	先人が守り、育ててきた文化遺産が市民共有の財産として活用され、市民の歴史や文化財保護への興味や関心を高め、次世代に継承されるよう、文化財指定の拡充を目指す。指定文化財は、国・県・市の指定を含む。目標数値は目標年次までに指定した文化財数。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	131	132	132	133	133	133	136
所管課	スポーツ・文化振興課			達成度	★★	単位	点

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産が市民共有の財産として活用され、守り伝えられるよう、文化財の保護・保存伝承と文化財保護思想の普及に努めています。 ・歴史民俗博物館では、年間250日程度の開館日数を確保し、通史展示や年間数本の特集展示の開催、体験学習などを通じた博物館資料の公開等により、栗東の歴史や文化に親しむ機会を提供しています。 ・市民主体による「東海道」の歴史、文化の雰囲気を楽しむ「東海道ほっこりまつり」の開催等、歴史文化資源を生かしたまちづくりを展開しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、都市化や価値観の変化など、文化財を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、文化財所有者への支援の充実、関係機関や調査機関との連携・体制の充実、価値や取り組みの情報発信等を通じて、市民の地域文化に対する理解促進、保全、継承に取り組む必要があります。 ・地域住民の多様な活動が、住民自らの創意工夫による景観活動の促進に繋がるような仕組みづくりの検討、市民に対する歴史文化資源の魅力の発信等を進める必要があります。

施策2 市民文化や芸術活動を振興するまちづくり

(基本事業)

- ・文化芸術に親しむ環境づくり
- ・市民芸術文化の創造

成果指標	外部評価におけるさくら事業に満足している割合						
説明	<p>栗東市芸術文化会館「さくら」は本市の文化・芸術振興の中核拠点であり、市民主体で地域に根ざした文化・芸術活動が今後とも維持・発展するよう、その拠点としての活動の充実を図る。</p> <p>さくらで行う全ての事業に対する評価について、指定管理者が毎年行うアンケート調査により把握。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	52	43	51	70	71	73	60
所管課	スポーツ・文化振興課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東芸術文化会館さくらにおいて、文化祭、音楽祭、演劇祭など様々な事業が展開され、市民の文化・芸術に親しみをもち、文化芸術活動に参加する機会づくりと意識づくりを進めています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした文化・芸術活動をより一層充実するとともに、栗東芸術文化会館さくらの更なる利用促進を図る必要があります。 ・多様な主体との連携を充実しながら、市民の誰もが自主的な文化・芸術活動に参加しやすい環境づくりを進める必要があります。

基本政策3 広域・近隣とのつながりを促進する交流のまち

施策1 地域資源を活用した観光振興のまちづくり

(基本事業)

- ・観光資源の創出と事業展開
- ・観光客受け入れ整備
- ・観光情報提供の充実
- ・特産・名産の開発・支援

成果指標	観光客入れ込み数（日帰り、宿泊）						
説明	<p>まちの優れた自然・文化遺産等を活かした地域の活性化や広域的な観光事業の展開を図り、来訪者の拡充を目指す。</p> <p>数値の把握は、滋賀県が半年および1年ごとに行う主要施設における利用者の調査において行う。（市の調査）</p> <p>対象施設は18箇所+栗東夏まつり。近年の入れ込み数は横ばい傾向。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	47.0	44.5	43.5	47.4	44.0	未確定	56.0
所管課	商工観光課			達成度	★	単位	万人

取り組み内容（実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携を図りながら、「りっとう市民夏まつり」やJRA 栗東トレーニングセンターと連携した馬と親しむイベントの開催など、地域資源を活用した観光まちづくりに取り組んでいます。 ・手原駅市民交流施設において栗東観光案内所を整備し、観光案内や観光情報の提供に取り組んでいます。 ・ボランティア観光ガイド協会の育成と活動支援、来訪者に分かりやすい案内板の設置・維持管理、栗東市観光物産協会等と連携した観光情報の発信に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や歴史・文化資源などの地域資源を生かした新たな観光資源の創出と活用、情報発信の強化・充実を進める必要があります。 ・栗東観光案内所を情報発信の拠点として、利用者のサービス向上に取り組んでいく必要があります。 ・観光施設の計画的な維持管理やリニューアル、地域ブランドを高める情報発信に取り組む必要があります。

施策2 交流を支える基盤づくり

(基本事業)

- ・ 広域・近隣とのつながりを促進する基盤整備
- ・ 公共交通のネットワークの促進

成果指標	バス1運行あたりの利用者数						
説明	市民の日常生活における移動手段、高齢者等の外出機会の維持、地球環境保全への貢献につながる、民間バス・コミュニティバスの効率的な運行を図る。 利用者数は合計運賃÷単価（200 円）にて把握し、目標数値は、利用者÷運行本数にて算出。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	3.4	3.0	3.0	2.9	2.7	2.6	2.9
所管課	生活交通課			達成度	★	単位	人

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道1号・8号バイパス、大津湖南幹線などの幹線道路の整備促進及び道路整備プログラムに基づく計画的な道路整備に取り組んでいます。 ・ 様々な機会を捉えて鉄道の複線化・複々線化や、新快速の停車等に関する要望活動を行うとともに、JR手原駅では、ラッシュ時の混雑緩和に向けた駅改札付近の改修を実施しました。 ・ より良いサービスの向上と経費の削減に向けて、市域を越えたコミュニティバスのジョイント運行に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連する事業との調整、財政見通し等を踏まえた整備優先順位の絞り込み、地権者や地元自治会の理解と協力を得ながら、引き続き、計画的な道路整備事業の進捗を図る必要があります。 ・ 交流を支える鉄道利便性を向上するため、JRとの協議・要望活動を継続します。 ・ 他市との連携・調整を図りながら、更なるバス運行ルートの見直しや利用促進に向けた市民意識の醸成を図る必要があります。 ・ 道路交通法の改正を踏まえ、安心・安全な自転車交通ネットワークの構築を進めていく必要があります。

基本政策4 多文化交流のまち

施策1 多文化共生を推進するまちづくり

(基本事業)

- ・多文化共生社会づくり
- ・国際交流の推進

成果指標	国際理解・異文化交流事業等の募集定員に対する参加率						
説明	<p>多文化共生社会の実現は市民、そして国籍や民族などの異なる人々の相互理解・協力によって達成されるものであり、そのきっかけとなる場・機会の充実と、積極的な参加促進を目指す。</p> <p>各事業の募集定員の合計に対する各事業の参加者の合計の割合。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	76.2	122.0	132.0	126.0	125.0	126.0	100.0
所管課	自治振興課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語通訳による生活相談窓口の設置、在住外国人のための多言語生活ガイドブックの作成等により在住外国籍市民の生活支援、交流事業を通じた異文化の相互理解の意識を深める事業に取り組んでいます。 ・バーミンハム市との市民による交流事業、衡陽市との書簡の交換による友好関係の構築に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語通訳による生活相談窓口の周知活動を図るとともに、複雑化・深刻化する個々の生活相談への対応、事業参加者の増加に向けた工夫やボランティアスタッフの充実などを進めながら、引き続き、多文化交流事業の充実を図る必要があります。 ・引き続き、栗東国際交流協会の自立運営に向けた組織強化と支援を図る必要があります。 ・市民レベルでの相互交流の促進に向けた、情報発信・周知活動等の支援が必要となっています。

【政策の実現に向けて】

「政策の実現に向けて」全体達成度 成果指標合計：6個（内指標数：6個）

基本政策	指標数	達成度			
		★ (~25%未満)	★★ (25%~50%未満)	★★★ (50%~75%未満)	★★★★ (75%以上)
市民主体・市民協働のまち	3	0	0	0	3
効率的で効果的な自治体運営	3	0	0	0	3
計	6	0	0	0	6

「政策の実現に向けて」の評価と課題

「政策1 市民主体、市民協働のまち」については、自治会活動の支援、転入者に対する自治会加入の呼び掛け、協働事業の実施、広聴制度の充実等により、市民主体・市民協働のまちづくりについて効果がみられます。その一方で、少子・高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化等の社会経済情勢の変化等を踏まえ、地域コミュニティの形成と、愛着の持てるまちづくり、市民参画と協働によるまちづくりに対する更なる取り組みの推進が求められています。

「政策2 効率的で効果的な自治体運営」については、(新)集中改革プランに基づく、人件費の削減や施策・事業の見直し等に加え、公平・公正な課税・徴収等の取り組み等により、将来負担比率や職員一人あたりの市民の数、市税の現年度分徴収率において効果がみられます。今後においても、改革効果を継続するため、中長期財政見通しの見直しを行う中で着実な行財政運営を行うとともに、財政規律確保の目標やルールづくり、創造型の視点を踏まえた第七次行政改革大綱に基づく行財政改革等に継続して取り組んでいくことが求められています。

政策 1 市民主体、市民協働のまち

施策 1 地域コミュニティによるまちづくり

(基本事業)

- ・コミュニティ組織の育成・支援
- ・活動拠点の支援

成果指標	自治会の加入率						
説明	<p>本市においては自治会が地域活動の主要な担い手であり、コミュニティの基礎となっているが、都市化の進展等に伴う住民同士のつながりの希薄化などが懸念されることから、自治会等への参画機会の創出や活動の活発化を促進する。</p> <p>自治会加入数は各学区地域振興協議会の自治会加入世帯数調査により把握し、加入率は統計データによる市全体の世帯数に対する自治会加入数により算出。</p>						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	90.0	90.96	91.45	91.37	93.72	93.94	92.0
所管課	自治振興課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化の一環から補助金等の見直しを行いつつ、引き続き自治会、地域振興協議会等の主体的な活動に向けた支援として、補助金等による支援を行う一方、転入者に対して自治会加入の啓発に取り組んでいます。 ・自治ハウスの設置・改修に対する支援、地域活動の拠点施設としてコミュニティセンターの運営支援と維持管理、地域活動のリーダー育成への支援など、地域コミュニティによるまちづくりに取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都市化の進展、ライフスタイルの多様化などに伴い、地域における住民同士のつながりの希薄化や地域コミュニティの衰退等が懸念されている状況の中で、愛着の持てる地域まちづくりへの取り組みが必要となっています。 ・引き続き、地域と行政の役割を相互に認識し、協働によるまちづくりを進めていくとともに、情報提供や相談体制の充実、人材育成などに取り組む必要があります。

施策2 市民活動が広がるまちづくり

(基本事業)

- ・市民参画のアピール戦略
- ・ボランティア・NPOの育成・支援
- ・市民と行政との協働推進
- ・市民参画と協働を促す体制づくりの推進

成果指標	協働事業推進の仕組みを活用した協働事業の実施数（新規）						
説明	協働により効果や効率性が高まる事業について、市民・市民公益団体と行政の双方が選択・提案し合い、協働事業の実施を目指す。 H21 施行の市民参画と協働によるまちづくり条例に基づく協働事業						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	—	—	1	5	4	3	3
所管課	自治振興課			達成度	★★★★	単位	件
成果指標	ホームページアクセス件数						
説明	協働には市民と行政の情報と認識の共有が基礎となることから、行政が持っている情報が市民にわかりやすく伝わるよう、行政ホームページの充実・改善による利用・閲覧の拡充を図る。 目標数値はHPアクセス数の月平均値の実績より年度の月平均値を算出。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	26,467	32,392	32,166	30,757	32,650	42,319	30,000
所管課	広報課			達成度	★★★★	単位	件

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やホームページ、パブリックコメント、市長への手紙、市長と気軽にまちづくり座談会等、広報・広聴活動の充実に取り組むとともに、市民によるまちづくりへの提案・意見等を市政に反映するために関係部局の情報共有等に取り組んでいます。 ・まちづくりに貢献した個人や団体等の表彰、表彰結果の情報発信に取り組み、市民のまちづくりへの参画意識の高揚に取り組んでいます。 ・栗東市社会福祉協議会栗東市ボランティアセンター市民活動センターへの活動支援を通じて、市民活動やボランティアに対する理解と関心を醸成する相談・啓発・普及・育成等の支援事業に取り組んでいます。 ・「市民参画と協働によるまちづくり推進条例」に基づいて、H21 年度から協働事業提案制度を継続実施するとともに、公益活動団体等を対象としたサポート講座を開催しています。 ・市民参画等推進委員会の開催など、市民参加のもとで市民参画・協働事業の進行管理・評価に取り組んでいます。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、多様な手法でタイムリーな情報提供に努めるとともに、より市民が参画しやすい環境整備を進め、市民の市政への関心を高めていく必要があります。 ・引き続き、栗東市ボランティア市民活動センターへの運営支援に取り組むとともに、新たな人材発掘や団体等の育成事業の展開、市民公益活動団体の育成・支援、中間支援機能の構築に取り組む必要があります。 ・協働によるまちづくりや協働事業提案制度等について広く市民へ情報発信・啓発を行うとともに、市民と行政が市民参画と協働に取り組む体制を整える必要があります。

政策2 効率的で効果的な自治体運営

施策1 効率的な行財政運営

(基本事業)

- 健全な財政運営の推進
- 成果をあげる行政経営システムの確立
- 人材育成方針に基づく職員の育成
- 広域連携の推進

成果指標	将来負担比率						
説明	地方自治体財政の健全性を表す新たな指標として設定された「早期健全化団体該当4指標」のうち、本市においては「将来負担比率」が特に厳しい状況にある。同指標が350%を超えると早期健全化団体として市民に多大な負担を強いることになることから、行財政改革の推進により、その一刻も早い改善を目指す。 目標数値はH21中長期財政見通しの将来負担比率(247.9%)と整合。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	327.9	309.3	312.6	282.5	246.0	219.4	250.0
所管課	財政課			達成度	★★★★	単位	%
成果指標	職員一人あたりの市民の数						
説明	行財政運営の効率化努力によって、公的サービスを効果的に提供していくことを目指す。 数値は、職員数÷人口にて算出。(H20:63,600人÷476人=133.6人 H26:67,500÷463人=145人)						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	133.6	140.6	139.9	143.0	145.7	149.4	145.0
所管課	総務課			達成度	★★★★	単位	人

取り組み内容(実績)	<ul style="list-style-type: none"> • (新)集中改革プランを策定し、同プランの内容を確実に予算に反映させ、実行することにより、財政収支の均衡を維持するとともに、毎年度、中長期財政見直しを見直し、PDCAサイクルで財政運営に取り組んでいます。 • 職員給与と併せて職員数の削減、施策や事業の再編・見直し、事務改善、土地開発公社の解散、受益者負担の適正化など、行財政改革を計画的に進めるとともに、総合計画前期基本計画に定める内容について進捗管理と、結果の公表を行っています。 • 広域行政協議会等を通じて近隣市との広域にわたる諸問題の解決を図っています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、PDCAサイクルに基づく財政運営を進めるとともに、(新)集中改革プランの改革効果を継続するための財政規律の目標やルールづくりに取り組む必要があります。 • 従来までの抑制型ではなく、栗東ならではの元気創造に向けて、引き続き、行財政改革に取り組むとともに、市民との協働による進行管理やそのための仕組みづくりを進める必要があります。 • 引き続き、近隣市との連携のもと、広域的な課題解決に取り組んでいく必要があります。

施策2 公正、確実な事務運営による行政サービスの品質向上

(基本事業)

- ・適正な入札・契約事務の実施
- ・適正な課税・徴収事務の実施
- ・効率的な会計処理事務の実施
- ・適正な監査事務の実施
- ・効率的な総合窓口業務の実施
- ・個人情報の保護、情報公開の適正実施

成果指標	市税の現年度分徴収率						
説明	公正、公平な課税、徴収による財源確保は財政運営の基礎であり、今後とも適正・効率的な税収納の確保に努める。 徴収率は国民健康保険を除く市税（固定、都市計画、市民税）にて算出。						
年度	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26目標値
数値	98.00	98.70	98.72	98.62	98.70	98.81	98.00
所管課	税務課			達成度	★★★★	単位	%

取り組み内容 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・課税対象の的確な把握、公平・公正な課税に取り組んでいます。 ・定期監査等での業務の効率性・有効性等に関する指摘事項を対象部局と共有し、改善を促しています。 ・現行の住民基本台帳システムの中で、総合窓口機能の手順マニュアルを常備し、市民ニーズに応じた迅速正確なサービスに取り組んでいます。 ・市民等からの情報公開請求や個人情報開示請求について適切に対応しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公平・公正な課税に取り組むとともに、制度改正に対する納税者への丁寧な説明、社会情勢等の変化に応じた収納環境の充実、民間委託の拡大等に取り組んでいく必要があります。 ・定期監査のあり方について検討を行うとともに、実施する各種監査業務については適切な執行に努める必要があります。 ・税と社会保障制度の改革に伴い、個人番号が付番されるため、諸証明の自動交付サービスの利用拡大を検討する必要があります。 ・営利を目的とした情報公開請求や行政情報の大量請求が増加しているため、条例の改正等も含めて、適正に個人情報等を取り扱う必要があります。